

Hongwanji Buddhist Mission of Australia

シドニー本願寺報

732 Pacific Highway, Gordon
PO Box 292 Lindfield (Sydney)
N.S.W. 2070 AUSTRALIA
Phone : (02) 9403-1256
Email : hbma@optusnet.com.au
http://www.hongwanji.com.au



親鸞聖人御誕生八百五十年 立教開宗八百年 についての消息



来る2023年には、宗祖親鸞聖人の
ご誕生八百五十年、また、その翌年には立教開宗八百年にあたる記念すべき年をお迎えするにあたり、2023年に慶讃法要をお勤めいたします。

親鸞聖人は承安3年・1173年にご誕生となり、御年九歳で出家得度され、比叡山で修行を重ねられましたが、二十九歳の折、山を下

りて法然聖人の御弟子となられ、阿弥陀如来の本願念仏の世界に入られました。その後、専修念仏停止によって越後にご流罪になられ、赦免の後には関東に赴かれて他力念仏のみ教えを人々に伝えられるとともに、『教行信証』の執筆にとりかされました。他力念仏のみ教えがまとめられた本書は、浄土真宗の根本聖典という意味

(2ページへつづく)

来る8月11日に
今年度の盂蘭盆
会法要が勤めら
れます。浄土に
生れて往かれた
方々を偲ぶ中で
阿弥陀様への感
謝のお念仏を申
しましょう。お
昼は持寄りです。
宜しくお願い申
し上げます！ 合掌

2019年度のお盆法要を 共に勤めましょう！

来る8月11日(日曜日)午前11時
より、今年度の盂蘭盆会法要が開教
事務所に勤められます。

この盂蘭盆会法要では、既にお浄
土に生まれてゆか
れた親しかった友
人、家族に思いを
馳せ、共に偲び、
お念仏申しつつ、
「歓喜会」とも言
われるお盆のおい
われを聴聞させて
頂きましょう。

合掌

渡部開教使



もくじ

ご門主様ご消息	1-2
お盆法要ご案内	1
お寺の予定表	1
今月の法話	2
スクリプチャークラス再開	3
平和のマラソン	3
今月のことば	3
仏教連盟セミナー	4
JCSフェイト	4
祥月の案内	4
ご懇念録	4

★ お寺の予定表 - Calendar ★

Aug 4 (Sun) 11:00 am 八月祥月法要/August Shotsuki Memorial Service

11 (Sun) 11:00 am 盂蘭盆会 /Obon Service
[Potluck Lunch/持ち寄りのお昼]

18 (Sun) 11:00 am 日曜礼拝/Sunday Service

19 (Mon) [本願寺報発行 / New Bulletin Issue]

25 (Sun) 11:00 am 日曜礼拝/Sunday Service

Sep 1 (Sun) 11:00 am 九月祥月法要/September Shotsuki Memorial Service

8 (Sun) 11:00 am 日曜礼拝/Sunday Service

14 (Sat) 11-18:00 チャッツウッド日本祭 / Japan Festival in Chatswood

15 (Sun) 平和と開教事務所の未来の為にマラソン/Sydney Marathon for Peace

22 (Sun) 11:00 am 日曜礼拝/Sunday Service





『ありのままの真実に基づく阿弥陀如来のお慈悲でありますから、いのちあるものすべてに平等にそそがれ、自己中心的な考え方しかできない煩惱具足の私たちも決して見捨てられることはありません。その広大なお慈悲を思うとき、親鸞聖人が「恥づべし傷むべし」とおっしゃったように、阿弥陀如来のお心とあまりにもかけ離れた私たちの生活を深く慚愧せざるをえません。』
(ご門主様のご消息より)



でご本典と呼ばれています。そして、そのご本典の記述によって、その成立を親鸞聖人五十二歳の時、すなわち元仁元年・1224年とみて、この年を立教開宗の年と定めています。

仏教は今から約二千五百年前、釈尊が縁起や諸行無常・諸法無我というこの世界のありのままの真実をさとられたことに始まります。翻って私たちは、この執われのないおさとの真実に気づくことができず、常に自分中心の心で物事を見て、悩み、悲しみ、あるいは他人と争ったりしています。釈尊は、このような私たちをそのままに救い、おさとの真実へ導こうと願われたのが阿弥陀如来であることを教えてくださいました。そして、親鸞聖人は、この阿弥陀如来の願いが、南無阿弥陀仏のお念仏となってはたらき続けてくださっていることを明らかにされたのです。

ありのままの真実に基づく阿弥陀如来のお慈悲でありますから、いのちあるものすべてに平等にそそがれ、自己中心的な考え方しかできない煩惱具足の私たちも決して見捨てられることはありません。その広大なお慈悲を思うとき、親鸞聖人が「恥づべし傷むべし」とおっしゃったように、阿弥陀如来のお心とあまりにもかけ離れた私たちの生活を深く慚愧せざるをえません。しかし、この慚愧の思いは、阿弥陀如来の悲しみを少しでも軽くすることができればという方向に私たちを動かすでしょう。

それは、阿弥陀如来の願いを一人でも多くの人に伝え、他人の喜び悲しみを自らの喜び悲しみとするような如来のお心にかなう生き方であり、また、世の安穩、仏法弘通を願われた親鸞聖人のお心に沿う生活です。み教えに生かされ、いよいよお念仏を喜び、すべてのいのちあるものが、お互いに心を通い合わせて生きていけるような社会の実現に向け、宗門総合振興計画の取り組みを進めながら、来るべき親鸞聖人ご誕生八百五十年ならびに立教開宗八百年の慶讃法要をともに迎えたいしましょう。



平成31年 2019年 1月9日

龍谷門主 釋 専 如

**来る2023年には、
京都のご本山へお参り致しましょう！**

ご門主様のお言葉に應えるべく、親鸞聖人のご生誕850年、そして立教開宗800年の慶讃法要のご勝縁に是非会うため、4年後の2023年にはオーストラリアからグループツアーを組み、京都のご本山に一緒にお参り致しましょう！

お盆のおいわれ

「お盆」は正式には、「盂蘭盆会（うらぼんえ）」という言いますが、これはインドのサンスクリット語、「ウランバナ」から来ています。その意味は、逆さ吊りを意味する「到懸」です、と聞くと驚かれることと思います。逆さ吊りですから頭を下にしてつり下げられているとてつもない苦しみのことを言っているのです。一体、これがお盆とどう関係が有るのかと想像されることでしょうか。いったい誰がこの逆さ吊りのような苦しみを味わっているのでしょうか？それは、釈尊十大弟子の一人、神通力第一の目連尊者のお母様の事を指しているお話でした。

『盂蘭盆経』によりますと、ある日、目連尊者が生前優しかった母が今どうしていらっしゃるかと思い、修行で得た神通力を使いお母さんを捜しました。自分の愛する母は天上界にいると思い、一番上の世界を見るのですが、どこにも見当たりません。そんなことはないと思いつつどんどん下の世界を恐る恐る見て行きます。が、どこにもその姿はありません。最後にまさかと思いながら一番下の世界である地獄を見たところ、何と餓鬼道に落ちて骨と皮だけになっている母を見つけたのでした。その時の目連の受けたショックは大変なものでした。しかし何とかせねばと思い母を救うべく食べ物を持って行くのですが、差し出した物は全て目の前で炎となって燃え尽きてしまい苦しみは増していくばかりでした。

途方に暮れた目連はお釈迦様の元へと行き何故母があんな世界に落ちているのか、どうしたら救えるか相談したところ、お釈迦様は、目連にこう伝えられました。

「目連、お前には優しかったお母さんではあったが、他の人と分かち合うことをしなかったためにお母さんは餓鬼道という地獄に落ちなければいけなかったのだよ。だが、目連、お前がお母さんに代わり、全ての縁ある人たちに食べ物を施すことにより、お母さんは救われて行くであろう。」

その言葉に従い、夏の勉強会の終わった日に全てのお釈迦様の弟子たちを招待し、沢山の食べ物を施したのでした。みんなにご馳走を食べてもらい大変喜んでもらったので、それにより、母が救われて行ったのを見届けて、目連も大いに喜び小躍りしたのでした。そして、それが盆踊りの起源となりました。

みんなが喜びを分かち合ったと言うことでお盆のことを「歓喜会（かんぎえ）」とも呼ばれています。

合 掌

オーストラリア開教事務所 所長 渡部重信



京都 本願寺

スクリプチャークラス再開される

冬休みが終り、三学期が始まり、西ゴードン小学校での仏教スクリプチャークラスも七月末から再開されました。

子供たちは、お釈迦様の日々の生活の中で為になる言葉をまとめた聖典から、毎週新しいお話を読みそこから大切なことを学んでいます。みんな和気藹々、楽しく授業をうけています。 合掌



仏教聖典からのお話を朗読する生徒



平和と開教事務所の未来のための

Sydney Running Festival

シドニーマラソン 参加

2019年9月15日 午前7時出走

●来たる9月15日(日曜日)に行われるシドニーマラソンに、今年も渡部開教使が出走します。

●世界平和と、オーストラリア開教事務所が、お寺となるための未来に向けて走るこのイベントに寄付を受け付けております。

●この一年に一度のイベントに対し、是非開教事務所のために寄付を申し出たいという方は、「Peace Run」と明記された上で、下記口座までご入金をして下さいますようお願い申し上げます。

ご寄付受付先口座 (WESTPAC銀行NEUTRAL BAY支店)

ACCOUNT NAME	: HBMA
BSB	: 032 197
ACCOUNT No	: 48 1501
DESCRIPTION	: PEACE RUN

●このイベントに、もし自分も一所に参加したい！とおっしゃる方は是非、このイベントの下記サイトから申込を行って下さい。

<https://www.sydneyrunningfestival.com.au/>

●エントリーできますのは、3.5kmの家族ラン、10kmのブリッジラン、ハーフマラソン、フルマラソンと、選択肢がございますので、自分が挑戦出来るカテゴリーを選んで下さい。一所に走りますことを心より念願しております。 合掌



今月のことば

浄土真宗の
じょうどしんしゅう

ならいには

ねんぶつおうじよう

念仏往生と

もうすなり

《一念多念文意》

いちねんたねんもんい

親鸞聖人
しんらんしょうにん

一七三三年〜二六三年



Shinran Shonin
親鸞聖人(1173-1263)

*The tradition of the
true Pure Land teaching
speaks of birth
through the Nembutsu.*

"Notes on Once-calling and Many-calling"
by Shinran Shonin

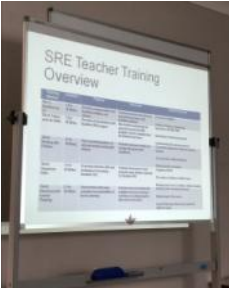


(真宗教団連合刊「2019法語カレンダー」より)



NSW仏教連盟でのスクリプチャー先生のセミナーに参加しました！

7月9日(火曜日)に、St Leonards にあるNSW州仏教連盟オフィスにて行われた、NSW州の公立校で仏教を教えるボランティアをしている先生のためのセミナーが開催され、他の先生方と一緒に参加して参りました。



お昼をはさんでの一日のセミナーで、その内容は、クラスで教える際の子供たちを引きつけるテクニックや、授業の資料をどう用意するか等について講義があり、最後はペアになって授業の組み立て方を話し合い、それを参加者の前で発表するという大変実践的で役に立つセミナーでした。 合掌



仏教連盟オフィス入口



(左)セミナー講師を勤められたマッカーサー・アンさんと。(右)最後には、参加者一人一人に修了証が手渡されました。(09/07/19)

JCSフェイトに参加しました！

7月13日(土曜日)に今年もオーバンのピクニック・エリアにて開催されたJCS(シドニー日本クラブ)主催のフェイトに参加して参りました。寒いながらも良い天気に恵まれ絶好のピクニック日よりとなりました。400人以上の方が一堂に集い、日本の食べ物、ゲーム、玉入れ、綱引き、紙芝居、チャリディング、踊り、等々、色々と日本文化を楽しめた一日でした！ 合掌



八月の祥月法要

August Shotsuki Memorial Service

Hashimoto, Mikinosuke 橋本 幸ノ助 様 (1964)
Iriguchi, Ritsuko 入口 律子 様 (1984)
Tanaka, Yasushi 田中 泰 様 (2011)

上記の方々が8月に祥月を迎えられます。ご家族、或はご縁のございます方は、来月8月4日午前11時にお勤めされます祥月法要にどうぞお参り下さいませ。

ご 懇 念 録

Expression of Dana/Gratitude



この一ヶ月間で、下記の方々より総計 1,470.00ドルのご懇志をご進納いただきました。また、お賽銭箱には、計12ドルが浄財として参拝者より喜捨して頂いておりました。この浄財は本願寺設立基金へ進納されました。有り難うございました。 合掌

In the past month, donations to the amount of 1,470.00 were offered to the Amida Buddha through the Hongwanji Buddhist Mission of Australia. HBMA members and attendants have also deposited \$12.00 in the donation box which also deposited to the Hongwanji Temple of Sydney Building fund. The HBMA acknowledges the donors and would like to express our sincere gratitude to the following for their generous donations:

- * Rev Mark Healsmith — Membership contribution for 6 months
- * Mr Ken Doochew — Mother's 49th Day Service
- * Mr Fujio Shizuka — Membership pledge
- * Mrs Ayako Mitsui Browne — Donations
- * Ms Akiko Minami — Obon memorial service
- * Mr Jonathan Shearman — Donations
- * Japan Club of Sydney — Printing honourarium
- * Japan Amateur Swimming Club — Printing honourarium



Thank you very much in Gassho



BULLETIN

42.195
KMSBLACKMORES
SYDNEY RUNNING FESTIVAL
Sunday Telegraph
OFFICIAL SPONSOR

*15 September 2019 Run for PEACE &
RUN FOR THE FUTURE OF HBMA*



Rev Watanabe will once again join the Sydney Running Festival on 15 September and will run 42.195km for the **WORLD PEACE** and also the **FUTURE OF HONGWANJI BUDDHIST MISSION OF AUSTRALIA!**

If you wish to donate for this event to support Reverend's Run, please make a donation to the following account.

ACCOUNT NAME: HBMA
BSB: 032 197
ACCOUNT NO: 48 1501
DESCRIPTION: "PEACE RUN"

Rev Watanabe finished 42.195km with time of 4:12.48 last year. (16/09/18)

If you wish to join this festival, you are most welcome to do so. There are also 3.5km family run, 10km and Half Marathon categories. You may experience the run the centre of Harbour Bridge, which is so exciting. Every year, many Japanese visitor runners join this event. Last year there were 37,300 participants in total for this event, and the number of runners from overseas was 2,350. Among these participants from overseas, there were 600 Japanese runners from Japan which was the biggest number among overseas countries. In Gassho,



*Scripture Class on the move!
At Gordon West P.S.*

Scripture class resumed on 24 July and students in Gordon West Public School are now studying focus about the important basic teaching of Buddhism. In Gassho,



*Rev Watanabe attended farewell
reception of Mr Keizo Takewaka,
Consul-General of Japan in Sydney*

Reverend Watanabe attended a farewell reception for the Mr Keizo Takewaka, Consul-General of Japan in Sydney, on 2 July 2019 held at the Consul-General's residence, in Bellevue Hill. Mr Takewaka was well loved by everyone in Sydney, because of his graceful personality. He is already assigned to become an ambassador in Laos from August 2019. All the best for his new career!



(Left:L-R) Rev Watanabe, Ms S Hayashi, Mr & Mrs Keizo Takewaka, Fukushima and other Japan Club of Sydney members. (02/07/19)

(Right) Rev Watanabe with Father Paul Glynne, Marist missionary priest, who originally from Lismore where Rev Watanabe attend for the Peace Service. (02/07/19).



*We all enjoyed a Fete — 13 July 2019
The Japanese Cultural Fun Day event.*

On a beautiful Saturday on 14 July, the Japanese community held an annual Fete in Auburn Picnic Area and many people joined this fun event. HBMA members also participated and helped with baking, everything worked so smoothly! In Gassho,



(Left) Rev Watanabe cooked sausage sizzle and onions and bacon and egg (13/07/19)



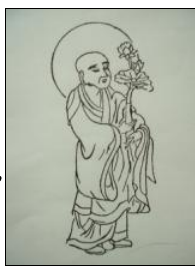
(Top Left) Noodle shop, (right) Sydney Soran Dance Troupe (bottom left) Tag a war, (right) (13/07/19)



According to the Ullambana Sutra, one day Mokuren was reflecting upon his beloved mother who had already passed away. At that time, a question came to his mind,

"What is my mother doing right now?"

He had supernatural powers, which he had obtained through his hard practice, so he was able to see people who had already died. So, Mokuren used this power to search for his beloved mother and found her.



Mokuren



Mokuren tried to feed his mother but food was all burnt.

Alas! - It was a big and sad surprise for Mokuren that his mother was suffering in the hell of hungry demons. It was an unbelievable scene for him. His mother was very skinny and almost just flesh and bone. Mokuren rushed to her, and tried to offer some food, but all of it caught fire in front of his mother. He tried many times but nothing worked. Mokuren

had no idea what to do, so, he went to see Shakyamuni Buddha.

Buddha listened to the story, and then told Mokuren why his mother had to go to such a world:

"Mokuren, your mother is suffering right now, because she did something wrong when she was in the human world".

But, Mokuren could not believe it and said:

"She was always a very kind and wonderful mother, what did she do?"

Sakyamuni said,

"I know she was really a wonderful mother, but she was good only to you, not to others. Whenever she had something good, she hid it from others and gave it to you, Mokuren. Your mother never shared things with others."

Mokuren said, ***"Is it because of me?"***

"Yes, Mokuren." Buddha replied,

"She loved you so much".

Mokuren then asked,

"What can I do for her?"

Buddha said,

"There is a way to save your mother. Because she did not share things with others and went to the hell of hungry demons. Therefore, if you offer and share things with others on behalf of your mother, and if they are pleased, then your mother will be all right."

In accordance with Buddha's word, Mokuren prepared more than enough food and shared it with all the Buddha's disciples on the last day of their summer study meeting on 15 August. They ate everything and all the disciples were very pleased. Then Mokuren was finally able to see his mother's peaceful smiling face. Mokuren was very happy as he jumped and danced with joy!



Since then, every year on the same day, the same thing was done. This is the origin of the Obon and the Obon dance.

As I write this article, I wonder if we are still doing the same thing as Mokuren's mother. Whenever we get something good, we don't share it with others, but only share it with our children. From the Buddha's point of view, all human actions are beset with selfishness. So we can't count how many selfish acts we make for the sake of our children, family or loved ones. These actions may commit us to go straight to the Hell of hungry demons. The only way for our salvation is to encounter the Vow of Amida Buddha; to encounter the teaching of the Nembutsu, and live the life of appreciation, embraced in the warm arms of Amida Buddha.

Let us recite Namo Amida Butsu showing our appreciation to Amida Buddha who works all the time for us all. - Namo Amida Butsu - .

Please join in for 2019 Obon on Sunday 11 !

In Gassho,
Rev Shigenobu Watanabe



REV WATANABE PARTICIPATED IN SRE - FAST TRACK TRAINING

**AT BUDDHIST COUNCIL OF NEW SOUTH WALES
ON TUESDAY 9 JULY 2019**

Rev Watanabe, as a Special Religious Education (Buddhist Scripture Class) teacher, participated in a one day workshop for the volunteer teachers, called "Fast Track Training" on Tuesday, 9 July at the office of the Buddhist Council of NSW, with other 13 scripture teachers



Ann is showing us many teaching resources. (09/07/19)

among

Sydney and area.

The aim of this training session is improve our teaching skill and know how to obtain resources for the teaching materials. And also learn how to manage classroom including controlling children's discipline, etc.



With trainer Ms Ann MacArther (Left) and other participants



Namo Amida Butsu

forms us of the existence of Amida Buddha who had vowed to save all ordinary and foolish beings like us, by guiding us to supreme enlightenment. Furthermore, Shinran Shonin clarifies that we, as the recipient of Amida's working, have already received the Buddha's wish in the form of the Name, *Namo Amida Butsu*.

As the manifestation of the ultimate wisdom and compassion that accepts everything as it is, Amida Buddha's working equally embraces every living being, never to abandon us, no matter how egoistic and filled with blind passions we may be. When truly realising how vast the Buddha's compassion is, we cannot help but feel ashamed of our way of living that is a far cry from Amida Buddha's wish. That is why Shinran Shonin laments, "How ugly it is! How wretched!" in referring to himself. However, this feeling of shamefulfulness could motivate us to endeavour to lessen the Buddha's sorrow even if only limited results were expected. Furthermore, that sentiment should synchronize with our efforts of sharing the Buddha's Vow with as many people as possible and feeling others' grief and joy as our own, because these acts are in accord with the wishes of Amida Buddha, and also Shinran Shonin who aspires for peace and tranquillity and the Buddha's teaching to spread throughout the world.

Let us appreciate the Dharma and Nembutsu teaching even more deeply, and together strive to realise a society in which everyone can live in peace and harmony, resonating in the hearts and minds of all. As the first step of this movement, I would like to ask for everyone's cooperation in continuing our organisational plans for the future and successfully conducting the joint celebration of the 850th Anniversary of Shinran Shonin's Birth and the 800th Anniversary of the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching.

January 9, 2019



SHAKU SENNYO
OHTANI Kojun
Monshu
Jodo Shinshu Hongwanji-ha

Let us plan to attend the service in 2023

According to Gomonshu-sama's message, there will be another historic event in 2023 in Kyoto, celebrating **850th Anniversary of Shinran Shonin's Birth** and the **800th Anniversary of the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching**. Therefore, we should plan to have our group tour from Australia to Japan and together we celebrate the joyful day when Shinran Shonin was born into this world. This is the once in a lifetime occasion, so we should not miss this event.

Please let HBMA office know your interest of joining to this group tour to Japan. Hope we can make a good size of tour group from Australia.



BULLETIN

Dharma message

Why do we commemorate Obon ?

Obon is a good time to reflect upon our loved ones who departed before us and show our appreciation to Amida Buddha who let them be born into the Pure Land saving everyone who encounters the teaching of nembutsu.

We all commemorate our loved ones who have already departed from us at this Obon time. However, as Jodo Shinshu followers, we shouldn't miss the essence of the Obon. Remember that if we only think about our ancestors at this time, it won't be a religious observance. Each one of us should be involved in this service. That is, we should think about and realise our own future lives. Because, we are also going to Amida Buddha's Pure Land where our ancestors are.

There is a famous Haiku (Japanese 17 syllable poem) which describes our human world as impermanent. It says "Chiru Sakura Nokoru Sakura mo Chiru Sakura (Cherry blossom falls, inevitably all blossoms fall)." There are no exceptions and no one can live this life forever.



Sakura blossom

As Rennyo Shonin, the 8th Gomonsu, also wrote in his letter: *"We have not heard of anyone receiving human form which lasts for ten thousand years. The course of life ebbs away very rapidly. Can a person preserve his body for a hundred years at the present time? Not knowing whether death will come today or tomorrow, those who depart from us are as countless as the drops of dew."*



Rennyo Shonin

Rennyo Shonin ended his message as follows: *"Thus, we see that what man cannot control is the passing away of the young, and old alike. Therefore, we should all look to our future life and with deep reliance on Amida Buddha say the holy Name."*

In the Ullambana sutra, we can find the origin of the Obon service.

I assume many people love their mother the best. One of the ten great disciples of Shakyamuni Buddha, whose name was **Mokuren** (Maudgalyayana) also loved his mother, because his mother loved him very much.

(Continues on page 3)

BULLETIN

Volume 20 - No. 7
29 July, 2019

Hongwanji Buddhist Mission of Australia

PO Box 292 Lindfield (Sydney)
N.S.W. 2070 AUSTRALIA
Phone : (02) 9403-1256
Mob : 0412 - 396 - 014
Email : hbma@optusnet.com.au
<http://www.hongwanji.com.au>



Message

On the Eight hundred fiftieth Anniversary of
Shinran Shonin's Birth
and
Eight hundredth Anniversary of
the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching



Ohtani Kojun Go-Monshu

The year 2023 will mark the 850th anniversary of Shinran Shonin's birth and 2024 will be the 800th anniversary of the establishment of the Jodo Shinshu teaching. To commemorate these occasions, we will be having the joint celebratory observance in 2023.

Shinran Shonin was born in 1173 and entered the priesthood at the age of nine. However, after devoting many years to monastic Buddhist practices on Mt. Hiei, he decided to descend the mountain at the age of 29. Following the guidance from his new mentor Honen Shonin, who introduced him to the Primal Vow of Amida Buddha, Shinran Shonin came to entrust himself to the Nembutsu teaching preached by his master. Several years later, their Nembutsu teaching was banned and Shinran Shonin was exiled to Echigo, present Niigata. Following his pardon, Shinran Shonin moved to the Kanto region where he engaged in propagation of the Nembutsu teaching of Other Power, namely the working of Amida's great wisdom and compassion. It is believed to be then when he began writing his main literary work, *The True Teaching, Practice and Realization of the Pure Land Way*, known as *Kyōgyōshinshō*. Since the essence of his teaching that emphasizes entrusting oneself to the Buddha's working of Other Power and recita-

Inside This Issue

Message from Go-Monshu sama	1
Let us celebrate Obon Service	1
Why do we commemorate Obon?	2-3
HBMA news / Marathon, Scripture, Fete	4

tion of the Nembutsu was clarified in the composition, the *Kyōgyōshinshō* is also referred to as *gohonden*, or the most foundational scripture of the Jodo Shinshu teaching. Based on Shinran Shonin's own inscription in the writing stating that he was 52 years of age at the time, the year 1224 became designated as the year when the Jodo Shinshu teaching was established.

Buddhism began approximately 2500 years ago when Śākyamuni became a Buddha, awakening to the true reality of this world, such as, the principles of dependent origination, impermanence, and no-self. However, ordinary people like us are neither able to realise the truth of enlightenment nor practice a life of nonattachment. To the contrary, we see things from our egocentric viewpoint and because of that we constantly suffer, encounter hardship, and fight with one another. That is why Śākyamuni Buddha in-

(Continues on page 2)



Let us celebrate HBMA's Annual 2019 OBON SERVICE !

11 am ~ Sunday 11 August 2019

Please come to our O-bon service, in commemoration of all who have gone before us, and show our appreciation to Amida Buddha.

Rev Watanabe will deliver the English and Japanese messages.

Those who plan to attend the service, **please bring a dish to share with everyone just like Mokuren (Maudgalyayana) did in the Obon story!**



Mokuren



Rev Watanabe